

SEKIAI

あなたと関愛会をつなぐ身近な広報誌 関愛通信【第1号】

～地域包括ケアを目指して～

関愛会 13施設

運営施設



機能強化型在宅療養支援病院 佐賀関病院

〒879-2201 大分市大字佐賀関750番地88
TEL: 097-575-1172
診療科: 内科・循環器科・呼吸器科・消化器科・小児科・整形外科・外科・
肛門科・耳鼻咽喉科・眼科・リハビリテーション科
入院病床: 90床 (一般病棟38床、回復期リハビリテーション病棟40床、地域包括ケア病棟12床)

- 大分県へき地医療拠点病院
- 日本静脈経腸栄養学会NST稼働施設認定病院
- 大分DMAT指定医療機関
- 日本医療機能評価機構認定病院



機能強化型在宅療養支援診療所 佐賀関診療所

〒879-2201
大分市大字佐賀関750番地91
TEL: 097-575-1173
診療科: 内科・眼科・耳鼻科・歯科



在宅療養支援診療所 一尺屋診療所

〒879-2203
大分市大字一尺屋2368番地1
TEL: 097-575-8028
診療科: 内科



機能強化型在宅療養支援診療所 こうざきクリニック

〒879-2111
大分市大字本神崎251番地8
TEL: 097-574-1782
診療科: 内科
● こうざきデイケアリハビリテーションセンターもみの木
● こうざきクリニック訪問リハビリテーション事業所



機能強化型在宅療養支援診療所 王子クリニック

〒870-0009
大分市王子町1番11号
TEL: 097-536-6633
診療科: 内科・消化器内科・心療内科



機能強化型在宅療養支援診療所 坂ノ市クリニック

〒870-0307
大分市坂ノ市中央1丁目269番
TEL: 097-574-7722
診療科: 内科・外科・消化器内科
入院病床: 19床
● 在宅医療連携センター
● 坂ノ市リハビリテーションセンターもみの木



在宅療養支援診療所 三重東クリニック

〒879-7104
豊後大野市三重町小坂4109番地61
TEL: 0974-22-6333
診療科: 内科・小児科



在宅療養支援診療所 清川診療所

〒879-6903
豊後大野市清川町砂田1877番地3
TEL: 0974-35-3561
診療科: 内科
● きよかわリハビリテーションセンターもみの木
● きよかわ介護サポートセンター三つ葉



マスコットキャラクター 愛会 (あいあい)

聴診器を耳にした医師を思わせる、かわいらしいカモメをモチーフにした明るいイメージキャラクターです。



高齢者介護施設 ひまわり

〒879-2201
大分市大字佐賀関880番地1
TEL: 097-524-4141
● デイサービスひまわり
● ヘルパーステーションひまわり
● ケアセンターひまわり (居宅介護支援事業所)
● 関愛会訪問看護ステーション



有料老人ホーム 海風

〒879-2201
大分市大字佐賀関792番地1
TEL: 097-575-4800
● デイサービス海風



ナーシングホーム 輝(ひかり) 訪問看護ステーション いろは

〒879-2111
大分市大字本神崎256番地4
TEL: 097-578-8133



介護老人保健施設 せきの郷

〒879-2203
大分市大字一尺屋2357番地
TEL: 097-575-8800
● 短期入所生活介護せきの郷



社会医療法人 関愛会

前理事長 長松 宜哉

社会医療法人 関愛会

新理事長 増永 義則

巻頭特集

関愛会 新旧理事長

地域医療を語る

シリーズ関愛会施設紹介
佐賀関病院

ドクター管の
医療よもやま話

町人紹介コーナー
ダーツの旅



社会医療法人 関愛会

〒879-2201
大分県大分市大字佐賀関750番地88 TEL: 097-575-1172



社会医療法人 関愛会
新理事長

増永義則



社会医療法人 関愛会
前理事長

長松宜哉



新しい10年をめざして

～ 二人の理事長が語る、地域と医療の明日 ～

8月1日、『社会医療法人関愛会』の理事長が長松宜哉先生から増永義則先生へと交代しました。長い間ともに働き、お互いをよく知る“新旧”理事長の二人に、これまでの10年とこれからの地域医療について、お話をうかがいました。

これまでの10年を振り返って

長松 市町村合併で佐賀関町が大部分へと編入されるのをきっかけに、佐賀関町立病院の運営を『社会医療法人関愛会』が引き継いで10年になりました。公から民への転換は簡単ではありませんでしたが、なんとかこの10年で『関愛会』を安定した組織としてレベルに乗せられたのではないかなと、自分なりに思っています。私は当初から10年をひと区切りと考えていましたので、後進にバトンを渡すなら「今だぞ」と（笑）。幸いウチは人材が豊富なので、早めに次の世代に引き継いだほうが『関愛会』のためにもなるだろうと、私自身で今回の理事長交代を決断しました。

増永 法人全体の運営基盤を先生が10年かけて作り上げてくれたんですよ。いろいろご苦労も多かった

長松 今回のことは、自分の人生観も影響しているんですよ。もともと私は60歳を過ぎたら、あまり縛られずに好きなことをやりたいと考えていましたからね。理事長職を離れて少し身軽になったので、これからは現場の医師として今まで以上に働きますよ。



平成17年ごろの一尺屋 田の浦地区での訪問診療の様子

これからの10年に向けて

増永 訪問診療や地域包括ケア、神崎や坂ノ市地区を中心とした在宅医療やリハビリなど、これまでに先生が取り組んでこられた事業がありますよね。これからの10年では高齢化や人口減少など、佐賀関地区の状況は今まで以上に変化していくと思われれます。そんな時代の流れに対応できるよう、医療態勢をさらに充実させ、柔軟性のあるものにしていきたいと考えています。

長松 そうですね。高齢化は全国的な流れですが、佐賀関のような小さな地域では医療と生活が都市部より密接な関係にありますからね。地域医療としての重要性は、今まで以上に高まっていくと思います。

増永 少子高齢化や過疎化のなかで、地域医療が取り組む課題はたくさんありますね。



完成した当時の待合室（写真上）、リハビリ室（写真下）

地域医療にもとめられるものとは

増永 佐賀関地区では、医療だけでなく介護や福祉も含めた地域包括ケアを実践していくことが大切です。ですから私たち医療現場の人間だけでなく、介護や福祉などいろんな職種の人との連携や互いの技能の向上が、より重要になっていくでしょうね。

長松 先生もご存知のとおり、ここは以前、佐賀関町の町立病院でした。当時は勤務体制なども公務員的で、そういった医療が本当に地域の人に安心や安全を与えられるのかと、私はずっと疑問に思っていたんです。ですから地域の人の立場に立った医療・介護サービスの構築というのが、民間である『関愛会』の重要な課題のひとつでした。やっぱり地域の人々が「便利になった」とか「安心して暮らせる」とか、実感していただかないとね。

増永 そうですね。実感していただくことで、そこに信頼が生まれてくる。地域医療では、お互いの信頼関係が何より大切ですからね。

長松 もうひとつ大切なことは、医療の継続性です。民営化したとき「10

～ 地域医療では、お互いの信頼関係が何より大切です ～

年もたないんじゃないか」と言われた中での設立だったので、時代の変化に合わせた医療や介護サービスを継続していくことの大切さを痛感してきました。患者さんのためにも、医療が止まることはできません。医療とは、とにかく続けることです。

増永 この10年で『関愛会』には多くの優秀な人材が集まってくれたと思います。医療・看護だけでなく福祉や介護の分野もそうですね。その人たちが現場での仕事を続けてゆくなかで、日々、知識と経験を深めています。まさに「医療は継続」ですよ。

お互いへのエール

長松 病院を立ち上げる段階では私みたいないい加減なヤツのほうに向いているけど、堅実な運営を続けていくには私じゃダメ（笑）。やはり仕事をコツコツとやり遂げていく増永先生のような人が最適なんです。飛躍ではなく一歩ずつ前に進む。急がなくていいんですよ。

増永 長松先生は企画力にすぐれ、行動力も決断力もある。たとえて言えば、裸一貫で会社を起こした創業

者のイメージですね。先生のリーダーシップがあつてこそ、今の『関愛会』があるんだと思っています。

長松 私こそ先生が若い頃から尊敬してました。とても優秀で、つねに努力を惜しまない。いつも頼りにしていましたよ（笑）。



佐賀関病院 平成17年11月竣工当時の建物写真



24時間365日をキーワードに地域の皆さまが安心して暮らせるため常に地域を見つめた病院でありたいと願っています。

佐賀関地区の医療を支える、佐賀関病院のスタッフ
約190名のスタッフが地域と共に歩んでいます。

この10年間で佐賀関地区の人口減少の加速は進み、高齢化率は46%となりました。今後この少子高齢化はますます進むものと思われまます。しかしながら、私どもは「地域包括ケアの推進」「地域貢献」「自己研鑽」の理念のもと、佐賀関地区の皆さまの安心と健康のため精一杯に努力してまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



【これからも地域のために】
この10年間で佐賀関地区の人口減少の加速は進み、高齢化率は46%となりました。今後この少子高齢化はますます進むものと思われまます。しかしながら、私どもは「地域包括ケアの推進」「地域貢献」「自己研鑽」の理念のもと、佐賀関地区の皆さまの安心と健康のため精一杯に努力してまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



に、私たちは、医師や看護師をはじめ様々な専門スタッフがそれぞれの専門分野を最大限に生かし、患者さまの治療にあたる「チーム医療」を大切にしています。それぞれの患者さまの状態などをチームで話し合い、患者さまお一人お一人に合わせたきめ細やかな対応を心がけるとともに、患者さまを常に見つめ、様々な疾病や患者さまごとに最適な治療を行いたいと考えています。また、その他の関愛会の介護施設や診療所などをはじめ、各関連施設との連携を大切にし、地域の皆さまが安心して暮らせるために地域を見つめた病院でありたいと願っています。地域に密着して24時間365日をキーワードに医療と介護が連携し、患者さまを支援するとともに、皆さまの心に寄り添うことができる病院こそが真に意義のある病院の原点だと考えます。

【チーム医療と連携】
当院では患者さまとより良い関係を築くために「患者さま皆さまの権利」や「患者さま皆さまの安全確保」などに全職員をあげて取り組んでいます。「説明と同意」、「情報開示」などにより患者さまがご自分の療養方針を自由に決定できるように努めております。さら



【機能強化型在宅療養支援病院】

地域医療を推進する関愛会の
中心施設、佐賀関病院

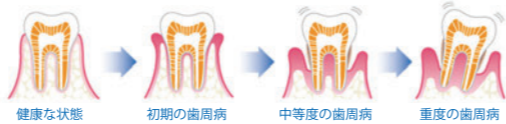
平成16年4月に医療法人 関愛会がスタートして昨年で10年の節目を迎えました。大分市との合併という荒波の中で、地域の、そして佐賀関地区の医療を守ることを使命として今日に至ります。佐賀関病院は海と山に囲まれた風光明媚な、抜群のロケーションに平成17年11月、現在地に新築移転され、一般病棟38床、回復期リハビリテーション病棟40床、地域包括ケア病棟12床の計90床を備えた「機能強化型在宅療養支援病院」で、内科、消化器科からリハビリテーション科まで幅広く診療しています。「機能強化型在宅療養支援病院」とは、24時間いつでも往診、訪問看護の提供が可能な体制を確保しており、在宅療養患者さまの緊急入院を受け入れることのできる病院のことを指します。



歯科衛生士
あなん ちはる
阿南千春 さん

歯周病の最大の特徴は!

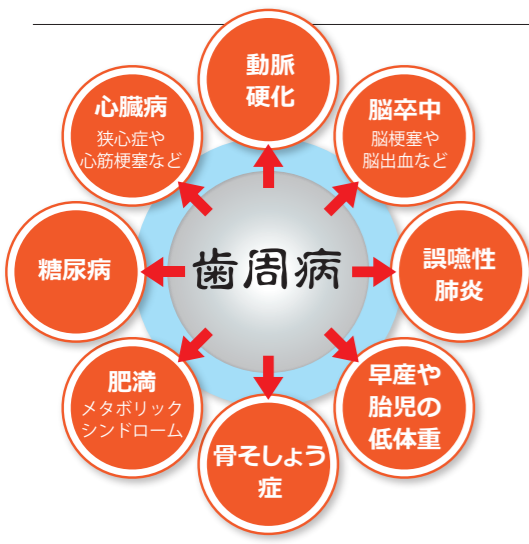
- ◎初期・中期には痛みをあまり感じることがなく症状がどんどん進む
- ◎痛みや腫れの症状が出てくるのは末期になってからで、それまではほとんど自覚症状がない



歯周病チェックをしましょう!

- ① 歯肉を押すと血や膿がでる
- ② 朝、口の中がネバネバする
- ③ 歯を磨くと出血する
- ④ 冷たいものがしみる
- ⑤ 口臭が気になる
- ⑥ 歯肉がむずがゆい
- ⑦ 歯肉が浮いた感じがする
- ⑧ 歯の間に食べ物が挟まりやすい
- ⑨ 歯肉が腫れている

★ 3つ以上当てはまると **要注意!**



歯周病と深く関係する体の病気



歯周病は、お口の問題だけでなく、全身の病気にも深く影響します。免疫が低下している状態にあると、口の内の細菌が歯肉を通して全身をめぐる、さまざまところに影響を及ぼします。

知っておきたい歯科の知識

歯周病とは、歯垢の中の細菌によって引き起こされる歯と歯ぐきの病気です。これが進行すると歯を支える骨を溶かし、最後には歯を失ってしまう原因になります。

はじめよう歯周病対策

歯周病の予防や改善には...

まずは、毎日の歯磨きが大切!

歯と歯ぐきの境目に歯ブラシの毛先が入るように、45度の角度で当てて小刻みな横磨きでしっかり磨きましょう。

歯垢などが残りやすいところを意識することで、効果的な歯磨きをしましょう。

歯垢などが残りやすいところは、歯と歯肉の境目、歯と歯の間、奥歯のかみ合わせです。



歯ブラシの毛先の角度
鏡を見ながら毛先がとどいていることを確認するのも良いでしょう。

歯や口に関して気になることがあれば、自己判断せずに、まずは歯科医院で相談されるといいでしょう。
定期的な検診が歯周病の予防になります!



教えて
Doctor!!

気温が上昇し、「夏かぜ」が流行り始めます。
夏かぜは高熱やのどの痛み以外に発疹を伴うことがあります

夏かぜのハナシ。

この夏かぜという言葉はよく耳にしますが、冬のかぜとどう違うのでしょうか?

内科篇

疑問1 冬のかぜとの違いは?

夏かぜは鼻水や咳はあまりみられず、むしろ高熱やのどの痛みや発疹を伴うことが多いようです。原因となるウイルスが冬に流行するウイルスと異なるからです。

疑問2 主な夏かぜの症状は?

主な夏かぜにはヘルパンギーナ、手足口病、咽頭結膜熱(プール熱)などがあります。ヘルパンギーナは急に39度前後の熱がでて、のどの痛みを訴えます。乳幼児はよだれを垂らし、口に指を入れ不機嫌になります。口蓋垂(のどちんこ)の近くに赤い小さな水泡ができ、潰瘍をつくるために痛むのです。熱は2〜3日でさがります。手足口病は手のひら、足の裏、足の背、膝や臀部に赤い細かい発疹や水泡をもった発疹が出現します。また病名のとおり口の中にも潰瘍をつくり痛みます。熱はでることも、でないこともあります。ときに髄膜炎を合併することがあるため注意を要します。咽頭結膜熱は別名プール熱ともいいますが、プールで感染するわけではありません。

疑問3 なぜ夏にはやるの?

前述の夏かぜの原因となるウイルスは冬の乾燥した寒い時期より夏場の湿度の高い時期に活発になるからです。

疑問4 治療は?

夏かぜに共通していることは、多くがウイルス性であるため特効薬はなく、抗生物質も効きません。すなわち症状に応じた対応をして自然に治るのを待たなくてはいけないということです。高熱に対しては、貼付型の冷却剤や鎮痛解熱の飲み薬や座薬を使用します。「汗をかけば熱がさがる」ということとはありません。むしろ脱水になる危険性を高めますので、無駄に汗をかかせないよう、エアコンを上手に使用して室温や湿度をコントロールし、快適に

疑問5 夏かぜの予防は?

夏かぜには予防のためのワクチンもありません。夏は夕方遅くまで明るいために長時間外出してしまったり、暑さのために良質の眠りが得られなかったり、冷房や冷たい飲み物で体を冷やしすぎるなどにより体力を落とすこと、つまり夏バテが感染の誘因になります。生活リズムを崩さないようにし、人ごみを避けることで予防しましょう。また夏かぜは手を介して感染する事がとても多いです。普段の手洗いはもちろん、お子様がかぜをひいた時には皆で積極的に手洗いをする事が大切です。タオルの使い回しも避けましょう。

暑い毎日が続くとおもいますが、体調管理に気をつけて元気に過ごしましょう。



こうぎクリニック
こうばらよしのり
甲原芳範 先生

■小さい頃の夢は？
 寿司職人

■趣味は？
 バイクツーリング スポーツ

■関愛会を選んだ理由は？
 子どもの頃から住んでいる佐賀関にもらった恩を還元したいという思いがあったから。そしてその思いがあるところで、室長と話し決めました。

■今一番大切にしているものは？
 時間です。家族といる時間、友人といる時間、患者さんという時間を大切にしています。

■あなたにとってプロフェッショナルとは？
 心の余裕です。どんな不測の事態が起こっても、冷静に適切な対応ができるということです。



高橋 宥吉
 【佐賀関病院】
 リハビリテーション科
 出身校/大分リハビリテーション専門学校

【今の仕事(職種)を選んだ理由は？】
 父が同職ということもあり、身近な職であったということもありますが、自分がケガをして父にリハしてもらい、憧れを持ったことが一番の理由です。



左から、久保太郎、朝倉梨絵、石井真奈美、加藤圭一

関愛会スタッフ紹介
 佐賀関病院 篇

わたしたちの事をもっと身近に感じていただくために、関愛会に勤務するスタッフをシリーズでご紹介します。趣味なども掲載してまいりますので気軽に話しかけてください。

佐賀関病院地域連携室には、現在4名の相談員が在籍しています。ここで私たちの事と日々の業務について少しご紹介させていただきます。

渡邊 華帆
 【佐賀関病院】
 2階病棟
 出身校/大分東明高等学校 看護専攻科

■小さい頃の夢は？
 お花屋さん

■趣味は？
 音楽鑑賞

■関愛会を選んだ理由は？
 実習させていただき、病院、スタッフの雰囲気がよかったから

■今一番大切にしているものは？
 休日、友達と会う時間

■あなたにとってプロフェッショナルとは？
 ひとつのことを自分が納得するまで追い求めること



【今の仕事(職種)を選んだ理由は？】
 看護師になってたくさんの人を笑顔にしたいと思ったから

まず始めに、近年私たちのような相談員「ソーシャルワーカー」と呼ばれている方々がいる病院や介護施設が増えてきました。私たち相談員は、病院内で「MSW」(Medical Social Worker) 医療ソーシャルワーカー)と呼ばれています。もしかしたら、耳にされた方もいらっしゃるかもしれません。

では、医療ソーシャルワーカーは、どんな事を行うかというところ(左記、厚労省『医療ソーシャルワーカー業務指針』より抜粋)

『保健医療機関において、社会福祉の立場から患者さんやその家族の方々の抱える経済的・心理的・社会的問題の解決、調整を援助し、社会復帰の促進を図る業務を行います。』

具体的には、

- 1 療養中の心理的・社会的問題の解決、調整援助
- 2 退院援助
- 3 社会復帰援助
- 4 受診・受療援助
- 5 経済的問題の解決、調整援助
- 6 地域活動

と記載されています。



■社会医療法人 関愛会
 佐賀関病院
 (代表) TEL. 097-575-1172

■医療相談室・地域連携室
 (直通) TEL. 097-575-1270

これだけを見ればちょっと難しい事をしていると思われるかもしれませんが、簡単に要約すると、病气やけがをすると、健康な時は考えもしなかった心配事が色々と生じてきます。そんな時、患者さんやご家族の方々のお力になれるよう、私たちが皆さんとともに問題解決にあたります。

患者さん、ご家族の方々がどのような気持ちで、どのような状況に置かれているかを病院スタッフに伝え、チームで皆さんをサポートします。

誰に相談していいかわからないという事があると思いますが、そんな時は相談室をお訪ね下さい。お電話での相談もお受けしておりますのでお気軽にご相談下さい。



大分銀行佐賀関支店
新支店長 渡辺 健吾

平成5年入行
平成21年 湯布院支店 支店長代理
平成24年 鉄鋼ビル支店 次長
平成27年 佐賀関支店 支店長

大分銀行佐賀関支店
前支店長 神田 哲也

今回は皆さんにもなじみの深い大分銀行佐賀関支店の前支店長と新たに赴任された新支店長に寄稿していただきました。

関愛通信ダーツの旅

Vol.1

診療所所在地周辺の方々を取材、ご紹介するコーナーです。

この度、大分銀行佐賀関支店長として着任いたしました渡辺健吾と申します。

新支店長挨拶
渡辺 健吾

大分銀行佐賀関支店



可能だと思っています。定住人口の増加はすぐには難しいですが、佐賀関にしかない魅力を県内外の多くの方々に発信し知っていただき、豊かな自然を活かすことで交流人口を増やすことは可能です。私自身、在任期間中にお手伝いを十分にできなかったことは、大変申し訳なく残念でなりません。私が尽くせなかった分も含め、後任の渡辺支店長に託したいと思っています。

一年間の短い期間でしたが、多くの方々の温かい心に触れ充実した時間を過ごすことができました。本当に感謝しています。今回、佐賀関を離れることになりましたが、今後も「佐賀関人」の一人として微力ながら『佐賀関』を応援させていただきます。

私は平成26年7月10日〜平成27年7月7日の間、佐賀関支店の支店長として勤務しました。豊後大野市三重町の出身で、これまでの勤務も日田市、別府市、県外などが多かったこともあり、大分市東部、とりわけ佐賀関に馴染みはなく土地勘もありませんでした。もちろん高級魚ブランドの「関アジ、関サバ」は知っていました。恥ずかしながら当地についての知識はその程度でした。

しかし赴任し、豊かな自然と温かい方々と接しすぐに『佐賀関』の虜になってしまいました。日豊海岸国定公園の関崎灯台から一尺屋にかけての変化に富んだ海岸線、瀬戸内海国立公園の高島、大志生木や黒ヶ浜、白ヶ浜の景勝、そして本当に美味しい海の幸。佐賀関の「食」について言えばイサキやサザエ、クロメはアジ・サバよりもポテンシャルが高いのでは？と思わせる程です。そしてこの町にはもう一つ別の顔があります。世界最大クラスの粗銅生産量を誇るパンパシフィック・カップ（株）佐賀関製錬所を擁す「銅製錬の町」と言う顔です。私は製錬所と一体化した半島の景色が大好きです。何時間眺めていても全く飽きません。

前支店長挨拶 神田 哲也

佐賀関支店勤務を振り返って



昭和30年代の佐賀関の写真

そんな佐賀関も近年は人口減少と高齢化で、かつての活気を失いつつあります。日本全体で人口減少・高齢化が進んでいることを考えれば仕方のないことなのですが、魅力いっぱい地域だけに「もったいない」とつい思ってしまう。私も支店では関愛会さまにお借りした昭和30年代の佐賀関の写真を店内に展示しています。その写真を見ると、当時の人々と街の力強さを感じます。住民のみならずと行政、そして歴史と実績をもった力のある企業群が一体となれば、かつての活気と自信に満ちた『佐賀関』を取り戻すことは

当地区を担当させていただくのは初めてですが、地域金融機関としてお客様のお役に立てるよう一杯努めさせていただきます。

着任して一ヶ月足らずですが、佐賀関の一番の印象は、「佐賀関の方は気さくで、とても親しみやすい」ということです。これまで10ヶ店以上を経験して参りましたが、どの地域よりも強く感じました。もうひとつの印象は、「景色がとても美しい」ということです。海岸線から海を臨む景色はどこから見ても大変美しいのですが、特に先日初めて訪れた「黒ヶ浜」「白ヶ浜」からの海の眺めは絶景で感動いたしました。

私も佐賀関支店が特に取り組んでいますことは、「地域行事への積極的な参加、お手伝いをさせていただく」ということです。地域内唯一の金融機関として、銀行業務を通じてあらゆるご要望にお応えすること、そして地域の活性化に向けた取り組みにも行員全員で積極的に関わることで、お客様や地域の方々から評価いただけるよう努力いたします。

また店内では、ロビーにて地域の方々の芸術・文化作品をはじめ懐かしい当地の写真なども展示しております。是非一度お立ち寄りくださいませ。

どうぞ今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

ドクター菅の 医療よもやま話

早いもので、私が坂ノ市で訪問診療に関わるようになって約3年が立とうとしています。このたび、広報誌に新たな文章を掲載して頂けることとなり、現在私が行っている訪問診療について自分なりに書いてみようと思います。

まだまだ駆け出しの在宅医です。で、まとまりのないものになるかも知れませんが、一つの意見として読んでいただければ幸いです。

これから日本は「団塊の世代」と呼ばれる人口の多数をしめる方々が高齢者となり、今よりも高齢者問題が深刻化していきます。この問題は「2025年問題」と呼ばれています。2025年には75歳以上の後期高齢者が2200万人、4人に1人が75歳以上という超高齢社会が到来します。当然ながら高齢者が増えれば医療費が増えます。その医療費を抑制するために長期入院が難しくなり、いままでは入院できていた方が病院を出ざるを得なくなってきました。その受け皿として、暮らしている家（在宅）で患者様を診ていく、在宅医療（訪問診療）が重要

視されてきました。今後も病院から在宅への移行が加速し訪問診療の必要性がさらに高まっています。

ところで、訪問診療とは何でしょうか？

さまざまな理由で通院困難な患者様のご自宅に、医師がお伺いし、診察・治療・健康管理を計画的に行うこと、これが訪問診療です。また定期訪問に加え、緊急時には365日×24時間体制で対応、必要に応じて臨時往診や入院先の手配などを行います。患者様・ご家族の医療に関する相談、生活面におけるアドバイス、介護関係施設・職員との調整なども行います。さらに眼科・耳鼻科の薬はもちろん、精神科の薬の処方まで行うこともあります。まさしく医療に関する「何でも屋・よろず相談屋」です。

する場にお邪魔するため、患者様の都合で訪問日を決めたり、ご家族の都合で訪問日を変えたりします。患者様の生活の中の一環として訪問診療があり、医療だけが優先ではあり得ない。ヘルパーさんや訪問看護師さん、ご近所さんと同じ立場で患者様の生活・健康を支えるのが訪問診療だと考えています。まさに患者様・ご家族様が中心の医療・介護を実践しています。負担は大きいですが、うまく支援できたときの患者様・ご家族の満足を糧に日夜頑張っています。



「診療に笑いを」
をもっと毎週
頑張ってます！

365日×24時間体制で
頑張ってます!!

坂ノ市クリニック
菅 聡 先生

その1 在宅で診る

訪問診療ではご自宅にお伺いするため、より近い距離で患者様と介護されるご家族に寄り添い、細やかな配慮、適切な支援を行うことが可能です。訪問診療は患者様の生活

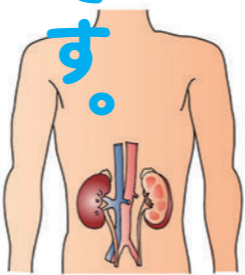
関愛会は在宅医療を積極的に展開しています。まず在宅支援病院として佐賀関病院があり、5つの強化型在宅支援診療所があります。現在全グループで400名をこえる訪問患者様を診察しています。また、今後も在宅医療・訪問診療を継続して展開していく予定です。

次回からは訪問診療で体験したお話をしようと思います。

同医源食

第1回 腎臓病

腎臓病の治療には、食事療法が何よりも有効です。
塩分・タンパク質を控える事が大切です。



「糖尿病教室」年10回
「腎臓病教室」年2回
(6月・11月)



関愛会では、年10回の「糖尿病教室」とあわせて年2回（6月・11月）、腎臓病の進行を遅らせる事と体調を良好に保つ事を旨として、患者さんと時にはご家族も一緒に「腎臓病教室」に参加して頂いています。また医師、看護師、保健師、栄養士をはじめ、時には薬剤師、理学療法士も一緒に話をさせていただけます。対象者は、関愛会で受診の経験のある方、主治医や看護師さんから教

室への参加をすすめられた方、血液検査から腎機能が気になる方、腎臓の治療食に興味のある方などです。会場は佐賀関病院に隣接したデイサービス施設ひまわりで、最初に管理栄養士より食事療法の話し、その後、腎臓食の試食会、最後に関愛会の増永理事より疾患についてのお話しが行われます。また、お帰りの際には高カロリーで低蛋白質の補食などをお土産にお配りしています。費

用は、お食事代として300円頂ぎ、別途、集団栄養指導料を1割負担の方は80円、3割負担の方は240円頂いております。今回実際管理栄養士がどのような内容で集団栄養指導を行っているかご紹介させていただきます。通常、腎臓病食を覚えて頂くのに腎臓病の交換表を使用する事もあります。私は実際ご自宅ですぐに実践できる簡単な蛋白質やカロリー計算法やフードモデ

ルを使用して、手秤法でアドバイスし、目安を覚えて頂いています。腎臓病の治療について特に気をつけなければならない点は、

- ①塩分制限
- ②蛋白質制限
- ③カリウム制限
- ④リン制限
- ⑤水分制限(透析導入患者)
- ⑥蛋白質制限によるカロリー不足の補正

などです。必要な栄養が不足してしまうとこれも体調不良の原因になります。主治医に必要なカロリーと摂っても良い蛋白質量や塩分量等を指示してもらい、それにあつたお食事をとる事が理想となります。関愛会では、医師をはじめ看護師、保健師、栄養士、薬剤師、理学療法士など様々なスタッフが専門分野を生かしたチーム医療を行っています。お気軽にご参加ください。



中野管理栄養士

・ごはん170g
・鶏肉の洋風煮
・カボチャの煮物
・マカロニサラダ
・マスカットゼリー

エネルギー(kcal) 656kcal
たんぱく質(g) 18.9g
塩分(g) 1.2g

献立(1人前) 平成27年6月18日(木)



教室の様子

七夕飾りで彩りました

7月4日(土)から3階病棟のスタッフルーム前と食堂・談話室を七夕飾りで彩りました。職員をはじめ患者さまとの手作りで、患者さまお一人おひとりの願いを込めた短冊で明るい雰囲気を出していました。ご自身のこと、ご家族への思いやりの言葉が綴られた短冊にあたたかさを感じたひと時でした。



佐賀関の夏の風物詩

今年も7月4日(土)から18日(土)までの毎週土曜日に佐賀関の夏の風物詩「関の夜市」が開催されました。4日(土)には七夕夜市が開催され、あいにくの雨模様でしたが多くの方でにぎわいました。当院からも金魚すくいなどのスタッフとしてお手伝いさせていただきました。また、11日(土)は佐賀関病院Presentsダンスフェスティバルが佐賀関公民館集会所で行われました。当日はご家族をはじめ、おじいちゃん、おばあちゃん方も応援に来られ、日頃の練習の成果を精一杯に披露する子供たちの生き生きとした姿に多くの拍手が送られていました。



関の権現夏祭り

7月28日(火)、29日(水)、30日(木)の3日間で関の権現夏祭りが開催されました。最終日の30日(木)には梅雨明けの猛暑の中、佐賀関病院に賑やかな音色とお拍子によってお神輿と山車が来てくださり、患者さまもご自身の回復と健康を願ってご神体の祀られたお神輿をくぐらせていただきました。お神輿を前に静かに手を合わせられる患者さまを見て、あらためて日本の伝統のすばらしさを感じました。地域に支えていただいていることに感謝いたします。



日々の想いと清川について、つれづれに綴ったエッセイ!

Vol.1

根は見えねんだな

梅雨の晴れ間の夕刻だった。帰宅して新聞を読んでいた時に、その瞬間を見た。一歳の孫がすくと立ったのだ。僅か十秒ほどだったが、何の支えもなかった。女房から時々立つと聞いてはいたが、この目で確認したのは初めてだった。イヤー感動した。孫の両足は震えていた。立つという途方もない出来事を、達成できた快感を心に残したのか、孫がにこっとしたのが印象的だった。

立ち初めし
足震えをり 合歡の花

明寛

誕生してから今まで、「初めての出来事」をいろいろ見せてくれた。天使のスマイル、ハンド・リガード、寝返り、這い這い、拍手、そして二本足直立と。いずれもある日突然に目にしたので、新鮮な驚きと同時に成長の証としての喜びを感じた。これらの仕草は、ある日偶然にできたものか? そうではないと思う。誕生の日から家族は抱き、語りかけ、玩具で遊び、そよ風に触れさせ穏やかな陽の光を感じさせてきた。孫はじつと黙って見て聞いて時に笑っていた。黙っている時間は、思慮と記憶の時間なのだ。体内では、遺伝子情報と外部からの情報が絡み合い成熟した結果が、いろんな「初めての出来事」だ。つまり見えないところで見えない力が「初めての出来事」を創出したのだ。見えない力による結果と言えば、七月十六日の芥川賞受賞発表を聞いた時にも思った。受賞者は又吉直樹氏だ。受賞作「火

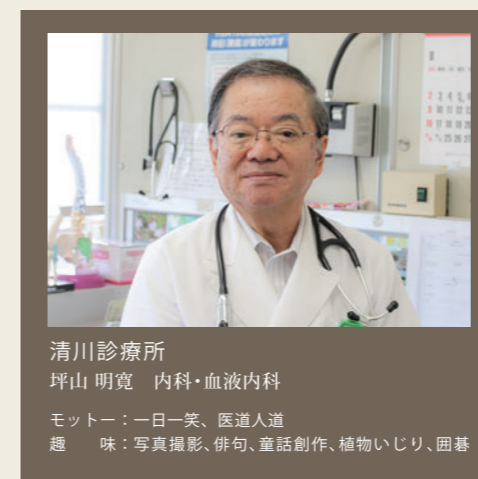
花」は、文学界に掲載され話題になっていたので、私も単行本を購入し読んでいた。若い芸人と先輩芸人が、「笑い」をテーマに私生活を織り交ぜながら、とにかく語る文体が続く小説だ。芥川賞は、新人作家の登竜門であり、これまでも「蛇にピアス」や「共喰い」など、ギョッとさせる内容の小説もあつたが、「火花」はそこまでは思わなかった。ただ最後に先輩芸人が豊胸手術をうけて登場したシーンには一寸引けた。そこまでして笑いを取るのか、いや芸人魂って凄いなあとと思つたが・・・

小説の内容は別にして、私は又吉直樹という芸人の、人知れず積み重ねてきた努力に、感心した。プロフィールによると、これまで二千冊もの本を読み、芥川龍之介、太宰治の愛読者で俳人でもあるとのこと。芸人としての修業をしながら、これほどの読書量は並大抵ではない。ストーリー・テラーとしての素養を、じっくり人には見えないところで涵養していたのだ。この人知れずの努力が、純文学の金字塔「芥川賞」を射止めたのだ。

さらに努力以外に、又吉氏と交流した人、読者を含めた又吉氏の知らない人々の存在も、金字塔獲得の裏方的存在になったのだろう。

相田みつをさんに「根はみえない」という詩がある。

花を支える枝
枝を支える幹
幹を支える根
根はみえねんだな



清川診療所
坪山 明寛 内科・血液内科

モットー：一日一笑、医道人道
趣味：写真撮影、俳句、童話創作、植物いじり、囲碁

先日まで庭に桔梗の花が咲いていた。薄紫の花が青空に向かって咲いていた。清しい花だ。この花を咲かせるには、見えている枝や幹も大切だが、一番大事な役割をしてくれたのは、根っこだ。でもその根っこは、誰にも見えないのだ。美しい花の裏方に見えない根という途轍もない存在があるのだ。

さて自分にとって「目に見えない根っこ」は何か? それは父母、恩師、友人、同僚、患者さん、書物、そして家族が「目に見えない根っこ」だと思ふ。

来年は私も古希だ。これからは私を日々支えてくれる根に感謝し、自分という花を咲かせるために歩みたい。花は花になることで終わりではない、次の世代に命を繋ぐことに花の咲く意味と意義がある。私も今少し懸命に生きて、生き様の花を咲かせ、私の命のバトンを子供や孫たちに繋げるように、猛暑に負けず生きてみるかと、自分に鞭打つ今夏だ。

■ 新任者紹介 ■



甲斐 誠司 (かい せいじ)

入職：平成27年7月
出身大学：自治医科大学
卒業年次：平成16年
専門分野：内科・呼吸器科
資格・認定医：日本内科学会認定医、プライマリケア認定医、日本医師会認定産業医、珠算5段位・暗算8段位
趣味：ドライブ、マンガ

大分県の地域医療に貢献するため、関愛会で地域・総合医療を学びたく、赴任して参りました。日々勉強だと思ひ、気持ちを新たに頑張っていきますのでよろしくお願い致します。



平山 匡史 (ひらやま ただふみ)

入職：平成27年4月
出身大学：自治医科大学
卒業年次：平成18年
専門分野：家庭医療/総合診療、内科
資格・認定医：プライマリケア認定医、指導医、オレンジドクター、緩和ケア研修会終了、ICLSコース終了、JATECコース終了
趣味：子どもとお出かけすること、ビジネス書を読むこと

「家庭医療」とは「『あなた』を専門とする医療」と考えています。皆様ひとりひとりの専門医としてがんばりますのでよろしくお願ひ致します。